

6 容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

(1) 令和2年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

容器包装廃棄物の減量化やリサイクルを推進するため、平成7年6月に「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(以下、「容器包装リサイクル法」という。)が成立し、市町村等では「市町村分別収集計画」を策定し、平成9年度から計画的な分別収集が行われている。県では、これら市町村等の分別収集計画を取りまとめた「千葉県分別収集促進計画」を策定し、容器包装廃棄物の分別収集状況等を把握している。

令和2年度における実施状況をみると、前年度と比較して全品目について、概ね横ばいで推移している。

紙製容器包装については、18市町村の実施にとどまり、分別収集があまり進んでいない状況にある。

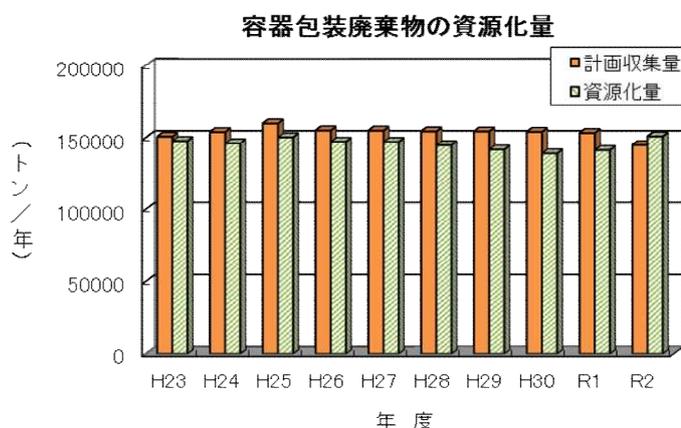
令和2年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

品目	計画量 (t)	収集量 (t)	収集率 (%)	再商品化量 (t)	再商品化率 (%)	計画 市町村数	実施 市町村数	
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)			
ガラス 包装 製	無色	15,386	14,719	95.7	14,058	95.5	52	50
	茶色	10,464	9,731	93.0	9,360	96.2	52	50
	その他	11,174	12,097	108.3	11,985	99.1	54	53
ペットボトル	16,899	18,824	111.4	17,829	94.7	54	54	
紙製容器包装	2,381	612	25.7	588	96.1	20	18	
プラスチック製容器包装 (白色トレイ含む)	26,520	30,996	116.9	25,797	83.2	37	35	
鋼製容器包装	8,010	8,225	102.7	8,194	99.6	54	52	
アルミニウム製容器包装	9,560	10,245	107.2	10,198	99.5	54	52	
飲料用紙製容器包装	593	511	86.1	511	100.0	49	39	
段ボール	43,976	52,476	119.3	52,400	99.9	54	54	
全品目	144,964	158,436	109.3	150,921	95.3			

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

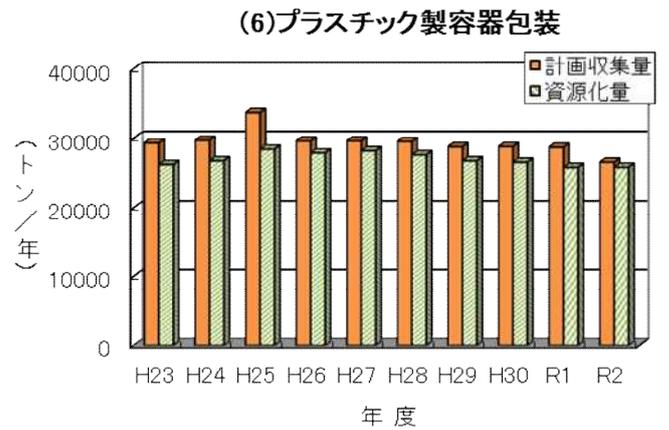
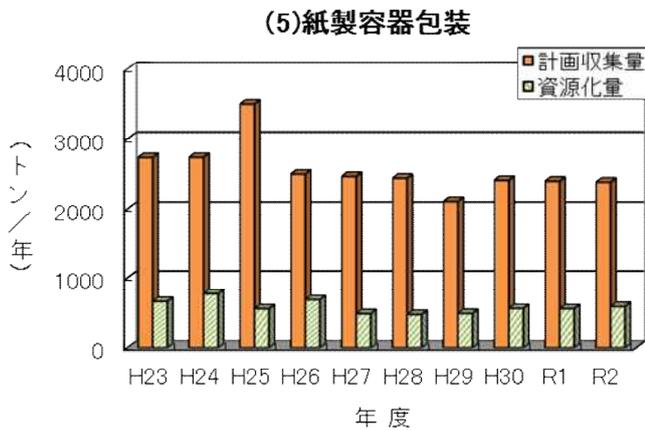
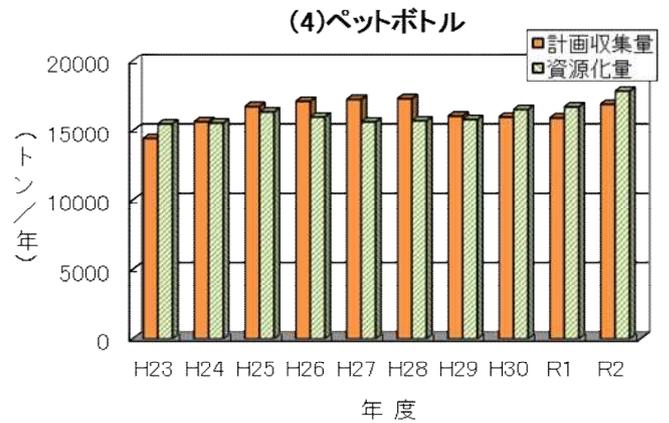
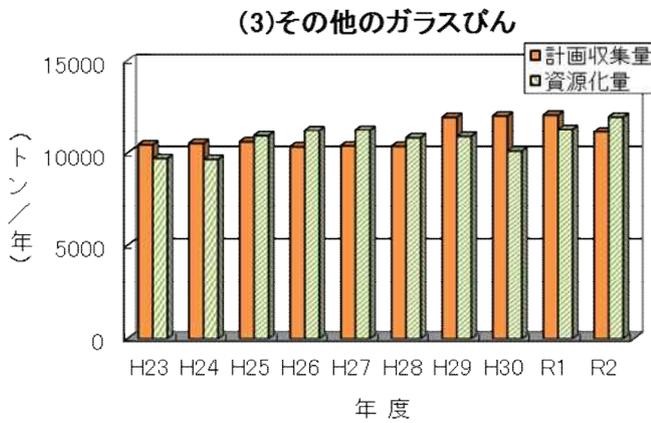
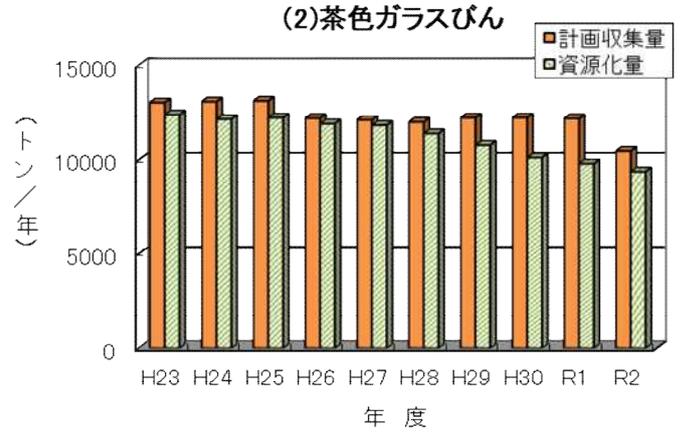
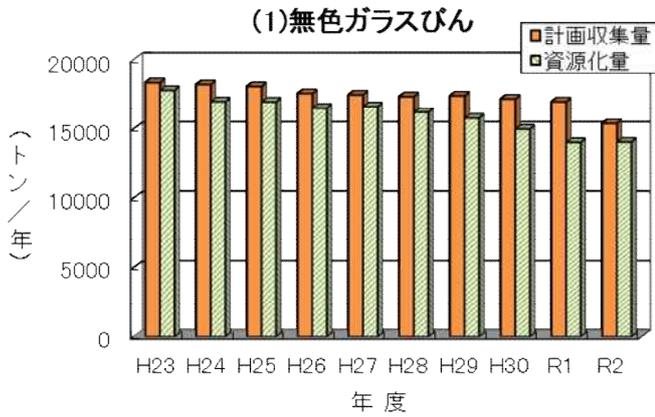
(2) 計画収集量及び再商品化量の経年変化

容器包装リサイクル法の分別収集対象品目は、平成9年度に分別収集が開始された時点では、無色ガラス、茶色ガラス、その他のガラス、ペットボトル、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装、飲料用紙製容器包装の7品目であったが、平成12年度からは紙製容器包装、プラスチック製容器包装、段ボールの3品目が追加され、現在に至っている。

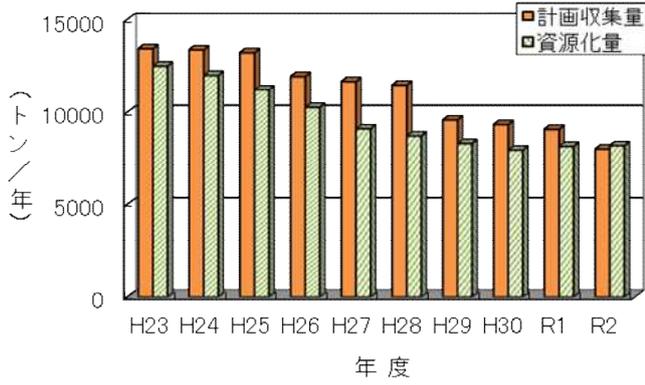


この品目追加により、再商品化された容器包装廃棄物の総量は、平成9年度の約9万トンから平成12年度に約12万トン、令和2年度には約15万トンと増加した。

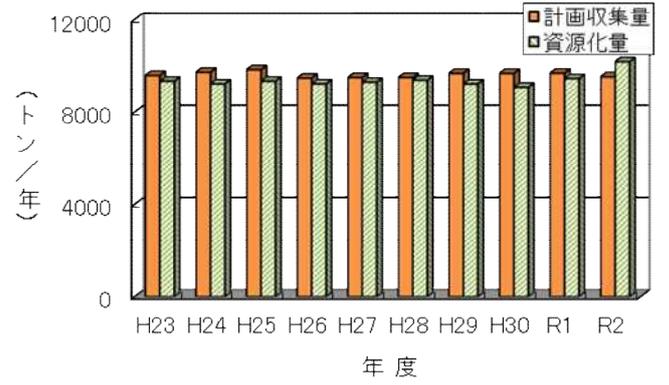
また、品目別の再商品化（資源化）量状況をみると、飲料用として広く利用されていた鋼（スチール）製容器包装、及びガラスびん（無色・茶色）が減少傾向にある一方、他の品目については概ね横ばいである。



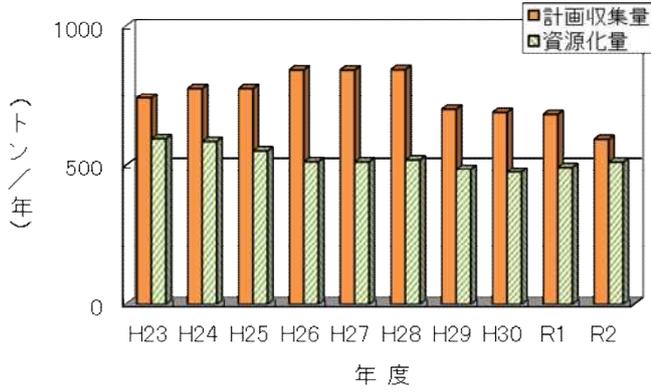
(7)鋼製容器包装



(8)アルミニウム製容器包装



(9)飲料用紙製容器包装



(10)段ボール

